



正木はじめさんも会場で熱唱



活気あふれる YOSAKOI 演舞



式典であいさつする真保局長。円内は
ブラジル北海道協会木下利雄会長



炎天下の中、アイスや飲料水
がたくさん売れました

日伯交流年を祝して

2月10日（現地時間）13時30分、北海道雪ダルマ祭が開幕。幾多の苦難を乗り越えて、日本人ブラジル移民100年の年に安平町産の雪で作った雪ダルマをサンパウロ市に届けることができました。「日伯交流年に安平町から最高の贈り物と思い出をいただいた」と現地でも高く評価されています。

手で触れて雪の冷たさを感じ、なめて味がないのを確かめる光景を見ることができました。大人にコメントを求めたこともばが通じませんが、子どもたちの顔を見ると楽しそうに万国共通の表情でした。会館内では式典が厳かに進行し、アトラクションとして安平町出身のプロ歌手正木はじめさんの歌謡ショウやヨサコイソーランの踊りなどが披露され観客から拍手が送られました。

記録更新の大イベントに

売店ではヒグマ会の女性会員が手作りした250個の雪ダルマのマスコットが30分で完売。軽食コーナーは食材を



大成功に終わった北海道雪ダルマ祭。全員の顔には喜びと充実した表情が…